

東京駅のすぐそばで、神戸の知を学ぶ

Konan University 2016

甲南大学 秋期公開講座・研究会の ご案内

1

秋期公開講座 死生学

—日本人の「老・病・死」を考える—

11月5日(土) 15:00~16:00
座談会/16:10~17:30

募集人員/30名(先着順)
受講料/1,000円

講師:上村 くにこ
(甲南大学 名誉教授)

「死生学」という言葉を聞いたことがありますか。「生きること」「老いること」「病むこと」なによりも「死ぬこと」について考える、とても新しい学問です。長寿王国日本では、世界でも例を見ないスピードで、たくさんの高齢者が死を迎える時代に突入しました。団塊の世代の高齢者が、どのように老いと死を迎えるか。そのことは今後の日本にとって大きな問題です。日本人の「老・病・死」の在り方が大きく様変わりしている現代、今まで私たちを支えてくれていた伝統的な死生観に加え、新しい死生観はどのように生まれつつあるのでしょうか?死生学の視点から一緒に考えたいと思います。

詳しくは裏面をご覧ください →

2

甲南大学ビジネス・イノベーション研究所 第30回研究会 スイーツなマーケティング論

—Mon cherの新たな試み—

11月24日(木) 15:30~17:00
懇親会(自由参加)/17:00~18:00

募集人員/30名(先着順)
受講料/1,000円

(1)「堂島ロールのMon cher、その後の展開」
講師:金美花氏
(株式会社Mon cher 代表取締役社長)

(2)「万人に好まれるスイーツとは」
講師:西村 順二
(甲南大学ビジネス・イノベーション研究所長・経営学部教授)
Mon cherの代表製品といえば「堂島ロール」です。独特の価値観で生み出されたこの製品には、「幸せお届け産業」という企業理念が込められています。そのMon cherでは、現在も新たな製品開発に取り組まれています。代表取締役社長金美花氏をお招きし、その企業戦略をお聞かせします。また、本学ビジネス・イノベーション研究所西村順二所長より、人が好むスイーツについてアンケート調査の結果をお話し、参加者の皆さまとスイーツの嗜好について議論を深めたいと思います。

詳しくは裏面をご覧ください →

3

秋期公開講座 「健康に育ち、健康に老いる」 脳のための栄養学

12月3日(土) 14:00~15:30
懇親会(自由参加)/15:30~16:30

募集人員/30名(先着順)
受講料/1,000円

講師:前田 多章
(甲南大学 知能情報学部 准教授)

ヒトの健康は、食習慣に大きく影響されます。食が乱れると色々な病気にかかり、時には命さえ危うくなります。そして、食習慣は身体に影響するのみならず、心にも大きく影響します。すなわち、正しい食習慣が脳を健康に育て、健康に老いさせてくれると言っても過言ではないのです。そこで本講座では、「何を、いつ、どの様に、食べると脳に良い影響がある」のか、また、「何を、いつ、どの様に、食べてしまうと、脳に悪影響がある」のか解説します。

詳しくは裏面をご覧ください →

受講のお申込みは、裏面の「受講申込書」をご利用ください。

会場:甲南大学ネットワークキャンパス東京

甲南 東京

検索

〒100-0005 東京都千代田区丸の内1-7-12サピアタワー10F TEL/03-6266-9520

甲南大学
KONAN UNIVERSITY

お申込みの講座/研究会すべてにチェック☑を入れて下さい。

☆お申込み受付後、受講料(兼)受講料振込依頼票をFAXまたはE-mailにてお送りします。必ずご確認ください。

①11月5日(土)15:00~16:00 座談会/16:10~17:30

募集人員/30名(先着順) 受講料/1,000円

秋期公開講座

死生学

—日本人の「老・病・死」を考える—

講師:上村 くにこ(甲南大学 名誉教授)

甲南大学文学部で「死生学」の授業を始めた4年前、予想に反し200名以上もの学生が授業を登録し、世間の「死生学」に対する関心の高さに非常に驚きました。授業の中で生まれたエピソードを交えながら、この学問がどのように生まれ、どんな方法論で研究できるのかを考えます。近代までは死を身近なものとして生きてきた人間が、なぜ現代になって「老」や「死」をタブー視するようになったのか。それにともなって死のイメージはどのような変遷をたどったかを見ていきます。最後に死を病院に委託する文化がなぜ日本に根付いてしまったのか、国の財政ゆえにそれが困難になった今、どんな死生観が生まれつつあるかを考えます。講座終了後には皆さんと共に「死生学」「老・病・死」について語り合う時間を設けます。

②11月24日(木)15:30~17:00 懇親会(自由参加)/17:00~18:00

募集人員/30名(先着順) 受講料/1,000円

甲南大学ビジネス・イノベーション研究所 第30回研究会

スイーツなマーケティング論

—Mon cherの新たな試み—

- (1)「堂島ロールのMon cher、その後の展開」
講師:金美花氏
(株式会社Mon cher 代表取締役社長)
- (2)「万人に好まれるスイーツとは」
講師:西村 順二
(甲南大学ビジネス・イノベーション研究所長・経営学部教授)

堂島ロールで有名なMon cherは、2004年創業以来、多方面にわたり、多様な改革を続けています。限らない新製品開発への努力とこだわり、多くの企業とのコラボレーションを通して着実に築き上げた信頼、更には2010年の上海万博出店を機に展開した海外進出(中国、香港そして韓国)などなどMon cherは進化を続けています。今回は、(株)Mon cher代表取締役社長の金美花氏をお招きし、最近のMon cherの動向についてお聞きします。守るべきものと変えていくべきものの両者を大事に、どのような展開をされているのでしょうか。そこには、どのような戦略・ビジョンがあるのでしょうか。皆さんと、最近のMon cherについて、理解を深めていきたいと思えます。また、皆さんはどのようなスイーツが好きですか?一般的には、どのようなスイーツが好まれるのでしょうか?研究会の後半は、スイーツの嗜好についてビジネス・イノベーション研究所 西村順二所長がお話をします。

③12月3日(土)14:00~15:30 懇親会(自由参加)/15:30~16:30

募集人員/30名(先着順) 受講料/1,000円

秋期公開講座

「健康に育ち、健康に老いる」 脳のための栄養学

講師:前田 多章(甲南大学 知能情報学部 准教授)

多くの人は、健康に育ち、健康な脳や身体を維持し、そして元気で老いていく事を望んでいます。そして、現代社会において「食育」が実践され、多くの人が健康な生活を送るための「食」の知識を得ています。しかし、「何を、どの様に、食べると良いのか」といったことはよくご存じなのですが、「何を、いつ、食べるべきか」といった一日の生活の中での食べるタイミングに関しては、あまり知られていないのが現状です。近年、時間栄養学という学問が注目され始めました。ヒトの脳や身体は、適切な栄養を適切な時間に摂取してはじめて健康になるのです。そこで本講座では、「子どもから高齢者まで、各々の年代にあわせて「何を、いつ、どの様に食べると、脳に良い影響がある」のか、また、「何を、いつ、どの様に食べてしまうと、脳に悪影響がある」のか分かりやすく解説します。

お名前	フリガナ			甲南大学、高・中、トゥレーヌ 卒業生の方は卒業年次・学部を ご記入ください。
ご住所	〒 —			
電話番号	() —	FAX	() —	
E-mail	@			
ご勤務先		職名		
当チラシの入手方法	・新聞折込み・書店配付() 書店)・甲南大学からのDM・その他()			

申込方法

お申込みは、この受講申込書に必要事項をご記入のうえ
FAXまたは郵送にて「甲南大学ネットワークキャンパス東京」あてにお送りください。
または、E-mailにて受講申込書の必要事項をご記入のうえお送りください。

送り先

- ・FAXの場合:(03)6266-9522
- ・E-mailの場合:nctokyo@adm.konan-u.ac.jp
- ・郵送の場合:〒100-0005
東京都千代田区丸の内1-7-12 サピアタワー10F
甲南大学ネットワークキャンパス東京あて

会場周辺図

